

養成施設卒業研究コンペ 結果発表

2022

最優秀賞

「接触圧-局所インピーダンス同時計測による カテーテルアブレーションにおける機械特性モニタ」

相賀すみれ

北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻

結果と講評

担当編集主幹 嶋津秀昭

13回目となる「養成施設卒業研究コンペ2022」の審査結果をお知らせいたします。

今年度も一昨年度から続いた新型コロナウイルスの感染拡大により、通常の講義はもとより卒業研究にも大きな支障が出ているなかでの募集となりました。論文の完成に向けて学生および指導者にご負担がかかったことと思います。

臨床工学技士養成施設で実施された卒業研究のなかから、各施設の推薦を受けて応募された論文のうち、一次審査を通過した論文4編がClinical Engineering誌ホームページ上に掲載されました。審査後に査読者のコメントに従って改訂が行われた最終的な論文のなかから、優れた1編を選奨いたしました。今年度はコンペの応募件数も大分減ってしまいましたが、審査された論文はいずれも卒業研究としては満足できる内容でありました。もちろん、もう少し長い時間をかけて研究を進めることができれば、さらに内容の充実が見込まれるものとは思いますが、長期にわたるコロナ禍の影響での内容ということも考慮した結果でもあります。

コンペティションという競争の下での審査になりますので、真剣な議論の末、最終審査を行って順位を付けました。枚数制限の厳しい論文ですので、著者が紙上で表現できることには限界がありますが、その点を考慮したうえで、「臨床工学技士業務との関連性」「論文としてのオリジナリティ」「研究の意義やおもしろさ」「疑問点の少なさ」「図式、表などの適切さ」を点数化して順位付けを行いました。編集主幹全員の総合的な判断に従って、次のように編集主幹賞を決定いたしました。

最優秀賞**「接触圧-局所インピーダンス同時計測によるカテーテルアブレーションにおける機械特性モニタ」**

(相賀すみれ／北里大学 医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻)

電極先端部の接触状態を接触圧 (CF) と局所インピーダンス (LI) の2つの指標で把握する方法を実験的に説明し、最適な条件を見いだす方法への可能性を示した研究です。臨床工学技士の業務として新しい分野である「カテーテルアブレーション」をテーマに取り組んだ点、また現在評価指標として広く用いられている指標を、さらに改善しようと試みた点を評価しました。

【全体的講評】

今回も掲載された論文は臨床工学技士の業務に深く関連するもので、養成施設の学生の手による卒業研究であることを考えると、水準の高い内容であると評価されました。このコンペの目的は、臨床工学技士の養成にかかわるすべての施設に向けて、学生に対して有意義で質の高い指導を行うことを推奨する意味を含んでいますので、それぞれの施設における研究推進の参考となる研究成果をお示しできたことは、今後の教育研究活動に大いに役立つものと考えています。

今回、応募された論文は、本選奨の趣旨に対する理解が示された結果であると考えています。短い期間で、またコロナ禍での論文の推敲には困難な点も多かったことと思います。それであっても、研究の当事者でない読者に研究の内容を正確に伝えるためには、研究の目的・方法・結果・考察の適切な記述が必要です。経験の少ない学生に対しては、より高い完成度を期待するために、所属する施設における指導者の適切な指導も不可欠となります。毎年、一次審査の段階では、記述自体の未熟さや不備に対する指摘も相当数ありましたが、一方で、執筆者自身が十分にその内容を消化できていないと思われるものもありました。

卒業研究は、学生の主体的なかかわりが最も大切なことですので、学生自身の自主的な研究という観点から、卒業論文としての課題選定にも配慮が必要となります。この観点からも、卒業研究の指導者に対しては学生の資質向上に資するようなテーマをうまく選ぶこと、さらにより論文に仕上げるための研究推進の方法やとりまとめに関する指導など、今後とも力を発揮していただけることを期待しております。本コンペでの最終的な評価では、このような点を含め総合的な審査を行っています。また、投稿された論文には短い期間ではありますが、査読が行われますので、よい論文を仕上げるための一助になることも期待できるかと思います。

多くの学生にとって、本コンペへの応募は大きな経験となって卒業後の活動にも活かされるものと考えています。すべての臨床工学技士養成施設の先生方には、卒業研究成果を積極的に推薦いただけますよう重ねてお願いいたします。